

F I V リサーチプロジェクト in 高知

猫エイズウイルス感染症への理解を深めるための活動です

<本プロジェクトの概要>

FIV リサーチプロジェクト in 高知は、高知県内において複数飼育環境下の家庭猫における猫エイズウイルス（Feline Immunodeficiency Virus: FIV）感染症の感染状況を調査する研究活動です。本プロジェクトで得られた成果は一般に公表し、FIV に対する正しい情報の普及および FIV 陽性保護猫の譲渡率向上に役立てられます。

<研究の背景と目的>

FIV はネコ科動物に対して病原性を示すウイルスであり、世界中の野外猫の約 10～30% が感染していると報告されています。FIV に感染した猫は終生ウイルスを体内に保有し、主に咬傷など猫同士の濃厚接触によって感染が伝播すると考えられています。このため、FIV 陽性猫の管理は隔離飼育が基本とされています。

一方、同じ空間で集団飼育されている猫の間での FIV 感染の伝播は稀であるとされており、隔離飼育を行っていない家庭も見受けられます。しかし、日本国内の家庭環境における正確な感染リスクは明らかになっていません。そこで本プロジェクトでは、FIV 陽性猫を飼育している一般家庭における FIV 感染リスクを評価することを目的としています。

<仮説>

「FIV 陽性猫と陰性猫が同じ室内で穏やかに生活している場合、猫同士の接触がある環境においても FIV 感染はほとんど成立していないのではないか」

<本プロジェクトへの協力のお願い>

過去に血液検査等で猫エイズウイルス感染が診断されている完全室内飼育の猫と、その同居猫のペアを募集しています。

以下の 2 つの条件に該当する猫さんを同じ空間で飼育されている飼い主様には、詳細をご説明いたしますので、下記の LINE 公式アカウントまでご連絡いただけますと幸いです。

※参加猫数には限りがあり、定員に達し次第募集を終了いたします。

研究対象となる猫の条件（1 の条件と 2 の条件を両方満たす猫のペア）

1. 猫エイズウイルス感染が陽性と診断されたことがある猫

※ 過去に動物病院で血液検査を行い、猫エイズウイルス（F I V）の感染が陽性と診断されたことがある、現在完全室内飼育の猫

2. 上記 1 の猫と同じ建物内・同一空間で同居しており、猫エイズウイルス感染が陰性、もしくは検査歴のない猫かつ、1 の猫と身体的接触が可能な環境で飼育されていること

<研究にご参加いただく猫さんについて>

- 研究対象として選ばれた猫さんには、FIV 感染の有無を確認するための血液検査を実施いたします。
- 検査費用はすべて神田アニマルクリニックが負担いたします。飼い主様のご負担はございません。



FIV リサーチプロジェクト in 高知 LINE 公式アカウント